

令和5年7月3日号

取組状況(1) 第2回地下水マネジメント研究会を開催しました [水循環政策本部事務局]

地下水に関する課題を共有し、先進的な取組を進めている地方公共団体の経験、ノウハウや他の参加者の知見等から解決の方向性等を見いだす「地下水マネジメント研究会」を、「地下水の実態把握(地下水の観測方法)」をテーマに開催しました。全国の地方公共団体の担当者を中心に約250人が参加し、地下水の観測をはじめるとの質問など、活発な意見交換が行われました。

当日の研究会資料は、ポータルサイトでご覧いただけますので、参考にしてください。

今後も、地下水マネジメント推進プラットフォームの一環として、継続して開催します。

- 日時 令和5年6月22日(木)14:00~15:30
- 参加者 約250人 [地方公共団体、国関係機関、研究機関、企業、報道]
- 内容 地下水の実態把握(地下水の観測方法)
- 主な意見
 - ・観測井が未設置の場合、どのように設置箇所を検討していけばよいか
 - ・地下水観測や地下水マネジメントに関して、都道府県とどのような連携をしているのか
 - ・地下水データベースの運用、登録申請について教えていただきたい
 - ・先進自治体の取組を参考に、知恵や創意工夫により地下水マネジメントに取り組みたい



研究会 配信状況
(内閣官房水循環政策本部事務局)



先進自治体からの事例紹介
(神奈川県秦野市)

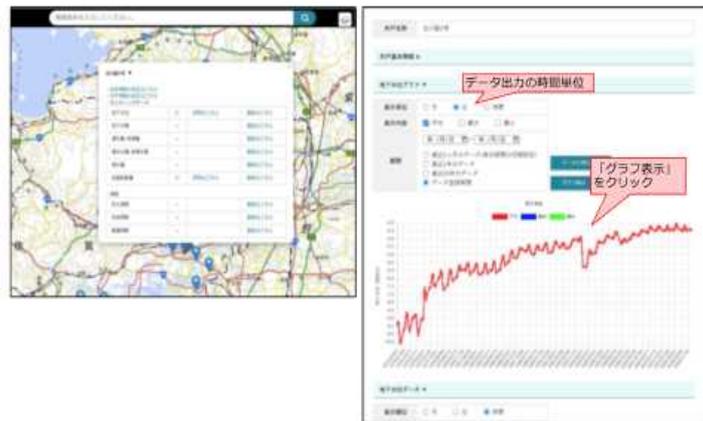
取組状況(2) 地下水データベースの運用を開始しました [水循環政策本部事務局]

市町村や都道府県、国等が観測した地下水位データ等を相互に共有、活用するための「地下水データベース」の運用を、「要綱地域」を対象に開始しました。

当面は、自治体の単独利用や、地下水マネジメントに取り組む地域単位での利用を想定していますが、自治体単独での利用であっても、データのバックアップ、経年変化などグラフ機能の活用、部署間でのデータ共有などが可能となります。

将来的には、隣接する自治体とデータ共有が速やかに行われ、データを使ったシミュレーション等にも活用していただきたいと考えています。

既にお問合せを頂いておりますが、ご希望があれば、登録が可能な状況ですので、事務局まで相談してください。



地下水データベース画面イメージ

愛知県では、地盤沈下状況を監視するため、県内30か所に整備した『地盤沈下観測所』の全てに総計82本の地下水位観測用井戸を設置し、常時観測を行っています。

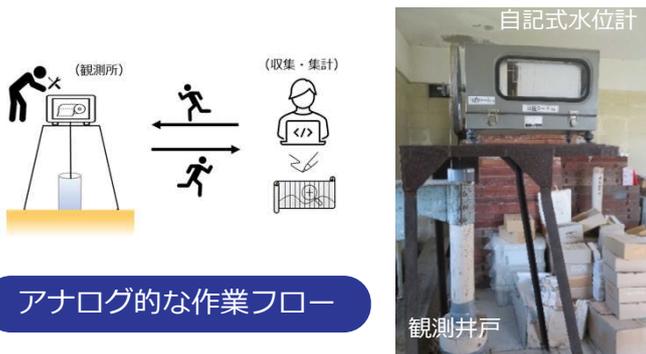
観測データの収集に当たっては、平成9年から一部の観測所(全体の30%)で“テレメータ”による自動化を図っていますが、その他の観測井では主に“自記式水位計(チャート式)”を使用しており、チャート紙の回収、観測データの読み取り及び報告を市町村へ委託しています。

現状では、観測データの精度確保や人的負担の軽減などの課題があることから、新たな取り組みとして『地下水位等自動監視システム』の導入について検討しています。

具体的には、観測データをクラウドへ自動転送する機能を備えた『新たな地下水位計』を導入するとともに、転送されたデータをクラウド上で自動集計するアプリケーションを構築することにより、観測から収集に加え、集計までの一連のすべての作業の自動化を目指しています。また、この自動化について、近隣自治体と一体的に取り組むことにより、タイムリーで広域的な地下水位の実態把握が期待できます。

現状の課題

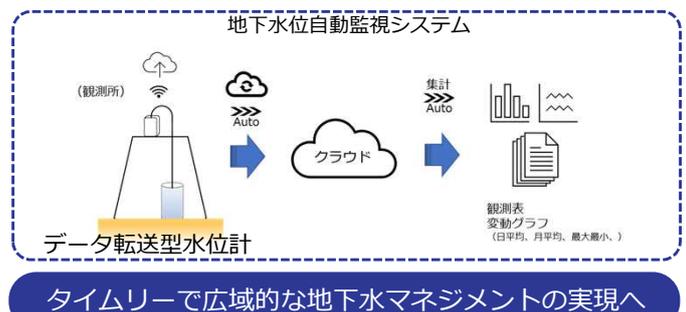
- 機器の老朽化に伴う観測精度の低下
- 観測データの収集・集計や機器の不具合・メンテナンスに係る人的負担
- 地下水挙動の把握・共有の遅延
- 市町村委託費やテレメータ管理費などランニングコストの圧迫 など



新たな取組

目指す姿

- データ転送型水位計とクラウドサービス(集計アプリ)の導入により、観測から収集、集計作業をすべて自動化
- タイムリーな地下水挙動の把握・共有(可視化)
- 業務効率化によるトータルコストの縮減



その実現に向け、今年度は地盤沈下防止等対策要綱地域である『濃尾平野』において、水位計メーカーの協力の下、近隣自治体と連携・協働して、『新たな地下水位計』の実証実験を実施しています。

この実証実験を通じ、当該水位計の耐久性や観測データを評価するとともに、今後の地下水位観測のあり方について議論を深めたいと考えています。

今回創刊した「Chika.Mizu.Net」は、地下水行政に携わる皆様との情報共有及び情報発信を目的としたものです。

今後、関係者の皆様とコミュニケーションを取りながら、地域の地下水マネジメントを進める上で、有益な情報連携ツールに育てていきたいと考えております。

最新の話題提供などに努めて参りますが、地域の話題、取組状況等について、積極的にご提供頂きますよう、よろしくお願いいたします。